



コールパークおよび ディレクテッド コールパーク

この章では、保留機能であるコールパーク機能、および転送機能であるディレクテッド コールパーク機能について説明します。シスコは、この2つの機能を互いに排他的に扱うこと、つまり両方を有効にせずどちらか一方だけを有効にすることを推奨します。両方を有効にする場合は、必ず、それぞれに割り当てる番号が矛盾したり重複したりしないようにしてください。次の各項では、2つの機能を最大限活用する方法を説明します。

- [コールパーク](#)
- [ディレクテッド コールパーク](#)

コールパーク

コールパーク機能を使用すると、コールを保留にし、Cisco CallManager システム内の別の電話機（たとえば、別のオフィスや会議室の電話機）からそのコールに応答することができます。電話機でアクティブなコールを受けているときに、[Park (パーク)] ソフトキーまたは Call Park ボタンを押して、そのコールをコールパーク内線番号にパークすることができます。システム内の別の電話機から誰かがそのコールパーク内線番号をダイヤルすると、そのパークされているコールを取得できます。

コールパーク内線番号として、1つの電話番号またはある範囲の電話番号を定義できます。各コールパーク内線番号でパークできるコールは1つだけです。

この章では、コールパークに関する次の情報を提供します。

- [コールパークの概要 \(P.9-3\)](#)
- [コールパークのシステム要件 \(P.9-7\)](#)
- [インタラクションおよび制限事項 \(P.9-7\)](#)
- [コールパークのインストールとアクティブ化 \(P.9-10\)](#)
- [コールパークの設定 \(P.9-10\)](#)
- [コールパークのサービスパラメータの設定 \(P.9-12\)](#)
- [コールパーク番号の検索 \(P.9-12\)](#)
- [コールパーク番号の追加 \(P.9-15\)](#)
- [コールパーク番号の更新 \(P.9-16\)](#)
- [コールパーク番号の削除 \(P.9-17\)](#)
- [コールパークのトラブルシューティング \(P.9-20\)](#)
- [その他の情報 \(P.9-21\)](#)

コールパークの概要

コールパーク機能は Cisco CallManager クラスタ内で動作します。クラスタ内の各 Cisco CallManager にコールパーク内線番号が定義されている必要があります (クラスタ間でコールパークを使用する方法については、[P.9-5 の「クラスタ間でのコールパークの使用」](#)を参照してください)。コールパーク内線番号として、1つの電話番号またはある範囲の電話番号を定義できます。電話番号または番号範囲は固有である必要があります。

有効なコールパーク内線番号は、整数とワイルドカード文字 (X) から構成されます。最大 2 桁のワイルドカード文字 (XX) を設定できます (たとえば、80XX)。XX を設定すると、最大 100 個のコールパーク内線番号が提供されます。コールがパークされると、Cisco CallManager は、次に使用可能なコールパーク内線番号を選択し、電話機にその番号を表示します。

Cisco CallManager では、各コールパーク内線番号に、コールを 1 つだけパークすることができます。



(注)

ユーザがクラスタ内のサーバ間でコールパークを使用する場合は、クラスタ内の各 Cisco CallManager サーバにコールパーク内線番号を設定する必要があります。設定の詳細については、[P.9-15 の「コールパーク番号の追加」](#)を参照してください。

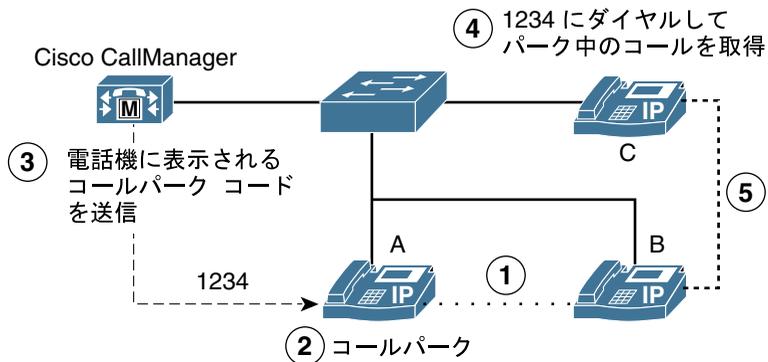
コールパーク機能の使用

 [9-1](#) に、コールパークのプロセスを示します。

1. 電話機 A のユーザが電話機 B にコールします。
2. 電話機 A のユーザが、プライバシーのため会議室で通話するとします。電話機 A のユーザは [パーク] ソフトキーを押します。
3. 電話機 A が登録されている Cisco CallManager サーバは、最初に使用できるコールパーク電話番号 1234 を送信します。この番号は、電話機 A に表示されます。電話機 A のユーザは、コールパーク電話番号を確認します (電話機 C でその電話番号をダイヤルできます)。

4. 電話機 A のユーザはオフィスを出て、使用できる会議室に行きます。会議室の電話機は、電話機 C として指定されています。ユーザは電話機 C をオフフックにし、1234 をダイヤルして、パークされたコールを取得します。
5. システムによって電話機 C と電話機 B の間にコールが確立されます。

図 9-1 コールパークのプロセス



- 初期の流れ ①
- コールパーク コード
- 最終的な流れ ⑤

94185

クラスタ間でのコールパークの使用

ユーザは、割り当てられたルートパターン（たとえば、クラスタ間トランクのルートパターンとしての 80XX）とコールパーク番号（たとえば 8022）をダイヤルして、パークされたコールを別の Cisco CallManager クラスタから取得できます。また、コーリングサーチスペースとパーティションが正しく設定されていることを確認してください。次の例を参照してください。

パークされたコールを別のクラスタから取得する例

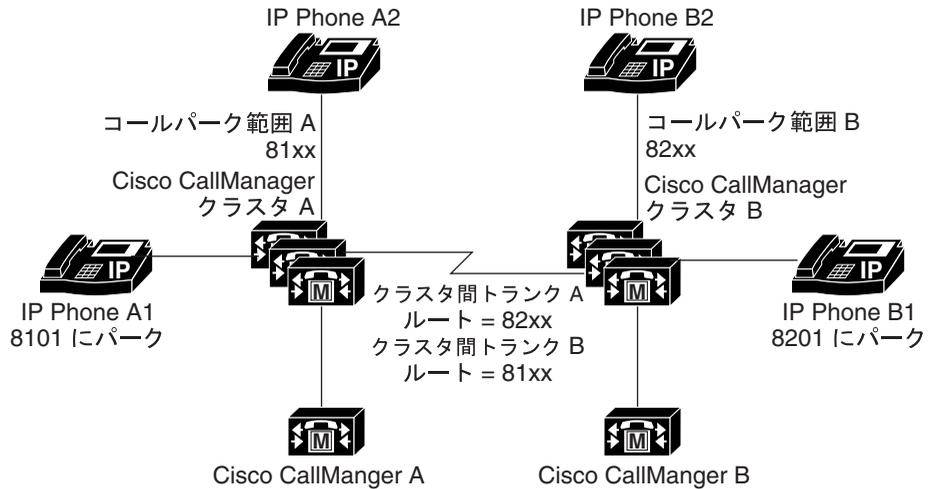
ネットワークに2つのクラスタ（クラスタ A とクラスタ B）があります。クラスタ A にはユーザ A1 とユーザ A2 があります。クラスタ B にはユーザ B1 とユーザ B2 があります。

クラスタ A には、81xx の範囲のコールパーク番号が設定されています。クラスタ B には、82xx の範囲のコールパーク番号が設定されています（管理者がこれらの範囲を設定します）。

クラスタ A には、ほかのクラスタのパーク範囲へのルートパターンとして 82xx が設定されています（クラスタ B へのルート）。クラスタ B には、ほかのクラスタのパーク範囲へのルートパターンとして 81xx が設定されています（クラスタ A へのルート）。

ユーザ A1 が 8101 にコールをパークすると、ルートパターン設定により、クラスタ A とクラスタ B 内のすべてのユーザ（正しいパーティションが設定された）が、パークされたコールを取得できます。ユーザ B1 が 8202 にコールをパークすると、ルートパターン設定により、クラスタ A とクラスタ B 内のすべてのユーザ（正しいパーティションが設定された）が、パークされたコールを取得できます。図 9-2 を参照してください。

図 9-2 クラスタ間トランクによる、パークされたコールの取得



例 1

1. A1 と A2 が通話していて接続中である
2. A1 が 8101 にコールをパークする
3. B1 が 8101 にダイヤルすると、コールはクラスタ A にルートされる

例 2

1. B1 と B2 が通話している
2. B1 が 8201 にコールをパークする
3. A1 は 8201 にダイヤルすると、パーク中のコールを取得できる

クラスタ間トランク A は、ルート 82xx を利用して、クラスタ B へアクセスする
 クラスタ間トランク B は、ルート 81xx を利用して、クラスタ A へアクセスする

注：ユーザは、パークされたコール番号を管理できません。
 コール番号は、システムによって割り当てられます。

99551

コールパークのシステム要件

コールパークが動作するには、次のソフトウェア コンポーネントが必要です。

- Cisco CallManager 3.0 以降

次の電話機は、Standard User と Standard Feature ソフトキー テンプレートの [パーク] ソフトキーでのコールパークをサポートしています。

- Cisco IP Phone (モデル 7905、7912、7920、7940、7960、7970)

次の電話機は、電話機ボタン テンプレートの Call Park ボタンによるコールパークをサポートしています。

- Cisco IP Phone モデル 30 (30 SP+ および 30 VIP)
- Cisco IP Phone モデル 12 (12 S、12 SP、12 SP+)
- Cisco IP Phone モデル 7910

インタラクションおよび制限事項

次の項では、コールパーク機能のインタラクションおよび制限事項について説明します。

- [インタラクション \(P.9-7\)](#)
- [制限事項 \(P.9-10\)](#)

インタラクション

次の各項では、コールパークが Cisco CallManager アプリケーションおよびコール処理とどのように通信するかを説明します。

- [Attendant Console \(P.9-8\)](#)
- [Music On Hold \(P.9-8\)](#)
- [ルート プラン レポート \(P.9-8\)](#)
- [コーリング サーチ スペースとパーティション \(P.9-8\)](#)
- [即時転送 \(P.9-9\)](#)
- [割り込み \(P.9-9\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク \(P.9-9\)](#)

Attendant Console

Cisco CallManager Attendant Console は、ac ユーザを設定する際に [コールパーク取得を許可する] チェックボックス (Cisco CallManager Administration の [ユーザの設定] ウィンドウにあります) を使用します。詳細については、このマニュアルの「[ac ユーザの設定](#)」を参照してください。

Music On Hold

Music On Hold を使用すると、ユーザは、ストリーミング ソースから提供される音楽を使用して、コールを保留にできます。Music On Hold では、次の2つのタイプの保留を使用できます。

- ユーザ保留：ユーザが保留ボタンまたは [Hold (ホリユウ)] ソフトキーを押すと、システムによってこのタイプの保留が呼び出されます。
- ネットワーク保留：ユーザが転送、会議、またはコールパーク機能をアクティブにすると、このタイプの保留が自動的に呼び出されます。

ルート プラン レポート

ルート プラン レポートには、Cisco CallManager で設定されているパターンと電話番号が示されます。コールパークに電話番号を割り当てる前に、ルート プラン レポートを使用して、パターンと電話番号の重複を検索します。

『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ルート プラン レポート」の章を参照してください。

コーリング サーチ スペースとパーティション

デバイスのコーリング サーチ スペースに基づいてユーザによるコールパークへのアクセスを制限するには、コールパーク電話番号または範囲をパーティションに割り当てます。『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「コール検索スペースの設定」および「パーティションの設定」を参照してください。

即時転送

コールパークは即時転送 ([iDivert (ソクテンソウ)] ソフトキー) をサポートしています。たとえば、ユーザ A がユーザ B にコールし、ユーザ B がコールをパークしたとします。ユーザ B はコールを取得し、[ソクテンソウ] ソフトキーを押してそのコールをボイスメール メールボックスに送信しました。ユーザ A に、ユーザ B のボイスメール メールボックスのグリーティングが再生されます。

割り込み

次に、コールパークでの割り込みと C 割り込みの違いについて説明します。

コールパークでの割り込み

発信先の電話機 (割り込み先の電話機) がコールを制御します。割り込みの発信側は発信先の電話機に「ピギーバック」します。割り込み中でも、共通機能のほとんどが発信先の電話機に属しているので、割り込みの発信側は機能を利用できません。発信先がコールをパークした場合、割り込みの発信側はそのコール (割り込み) をリリースする必要があります。

コールパークでの C 割り込み

割り込みの発信先と発信側はピアとして動作します。C 割り込み機能は Conference Bridge を使用し、それを Meet-Me 会議のように動作させます。両方の電話機 (割り込みの発信先と発信側) がそれぞれの機能を完全に利用できます。

ディレクテッドコールパーク

ディレクテッドコールパークおよびコールパークの [パーク] ソフトキーの両方を設定することは可能ですが、シスコではどちらか一方のみを設定することを推奨します。両方を設定する場合は、コールパーク番号とディレクテッドコールパーク番号が重複しないようにしてください。

制限事項

コールパーク機能には、次の制限事項があります。

- Cisco CallManager では、各コールパーク内線番号に、コールを1つだけパークすることができます。
- 各コールパーク電話番号、パーティション、および範囲が Cisco CallManager クラスタ内で固有であることを確認してください。
- デバイスを登録する各 Cisco CallManager には、固有のコールパーク電話番号と範囲が必要です。
- Cisco IP Phone モデル 7902 はコールをパークできません（パークされたコールの取得しかできません）。

設定の詳細については、[P.9-15](#)の「[コールパーク番号の追加](#)」を参照してください。

コールパークのインストールとアクティブ化

システム機能のコールパークは、Cisco CallManager ソフトウェアに標準で備わっています。この機能は、特にインストールする必要はありません。

コールパークの設定

この項の内容は次のとおりです。

- [コールパークの設定チェックリスト \(P.9-11\)](#)
- [コールパークのサービスパラメータの設定 \(P.9-12\)](#)
- [コールパーク番号の検索 \(P.9-12\)](#)
- [コールパーク番号の追加 \(P.9-15\)](#)
- [コールパーク番号の更新 \(P.9-16\)](#)
- [コールパーク番号の削除 \(P.9-17\)](#)
- [コールパークの設定項目 \(P.9-18\)](#)

コールパークの設定チェックリスト

表 9-1 に、コールパークを設定する際のチェックリストを示します。

表 9-1 コールパークの設定チェックリスト

設定手順	関連手順と関連項目
ステップ 1 コーリング サーチ スペース内にパーティションを持つユーザだけがパーティションを使用できるようにコールパーク内線番号のパーティションを設定します。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの追加」 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Media Termination Point の設定」
ステップ 2 クラスタ内の各 Cisco CallManager に対して固有のパーク内線番号を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> サーバがまだ設定されていない場合は、設定します。 Cisco CallManager がまだ設定されていない場合は、設定します。 コールパーク電話番号を追加し、ドロップダウン リスト ボックスから適切な Cisco CallManager を選択します。 Cisco CallManager グループにすべてのサーバを追加します。 	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「サーバの設定」 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco CallManager の設定」 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco CallManager グループの設定」
ステップ 3 固有のコールパーク番号を設定するか、コールパーク内線番号の範囲を定義します。	コールパーク番号の追加 (P.9-15)
ステップ 4 コールパークにアクセスできる各デバイスに Standard User ソフトキー テンプレートを割り当てます。ソフトキーを使用できない電話機に対しては、Call Park ボタンのある電話機ボタン テンプレートが自動的に設定されます。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ソフトキー テンプレートの設定」

■ コールパーク

表 9-1 コールパークの設定チェックリスト（続き）

設定手順		関連手順と関連項目
ステップ 5	コールパーク機能へのアクセスを許可された各ユーザの [ユーザの設定] ウィンドウで、[コールパーク取得を許可する] チェックボックスをオンにします。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「新規ユーザの追加」
ステップ 6	コールパーク機能が使用可能であることをユーザに通知します。	ユーザが Cisco IP Phone でコールパーク機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。

コールパークのサービスパラメータの設定

Cisco CallManager には、コールパーク用に、Call Park Display Timer と Call Park Reversion Timer の 2 つのクラスタ全体のサービスパラメータが用意されています。各サービスパラメータではデフォルトが設定されているので、特別な設定は必要ありません。

- **Call Park Display Timer** : デフォルトでは 10 秒に指定されています。このパラメータは、コールをパークした電話機にコールパーク番号を表示する時間の長さを指定します。このタイマーは、Cisco CallManager サービスとディレクテッドコールパークが設定されたクラスタ内の各サーバに対して設定します。
- **Call Park Reversion Timer** : デフォルトでは 60 秒に指定されています。このパラメータは、コールのパーク状態を継続する時間を指定します。このタイマーは、Cisco CallManager サービスとディレクテッドコールパークが設定されたクラスタ内の各サーバに対して設定します。このタイマーが時間切れになると、パークされたコールは、コールをパークしたデバイスに戻ります。

コールパーク番号の検索

ネットワーク上には、複数のコールパーク番号が存在する可能性があるため、Cisco CallManager は特定の条件に基づいて、特定のコールパーク番号を検索します。コールパーク番号を検索するには、次の手順を実行します。



(注) ブラウザセッションでの作業中、Cisco CallManager Administration は、コールパーク番号の検索プリファレンスを保持します。ほかのメニュー項目に移動してこのメニュー項目に戻った場合、検索を変更するかブラウザを閉じない限り、Cisco CallManager Administration によってコールパーク番号の検索プリファレンスが保持されます。

手順

ステップ 1 **Feature > Call Park** を選択します。

Find and List Call Park Numbers ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウンリストボックスを使用して、コールパーク番号を検索します。

ステップ 2 1つめの Find Call Park Numbers where ドロップダウン リストボックスから、次の条件のうち1つを選択します。

- Number
- Partition
- Description



(注) このドロップダウンリストボックスで選択した基準によって、検索で生成されるコールパーク番号のリストのソート方法が決まります。たとえば、Partition を選択すると、結果リストの左のカラムに Partition カラムが表示されます。

2つめの Find Call Park Numbers where ドロップダウン リストボックスから、次の条件のうち1つを選択します。

- begins with
- contains
- ends with
- is exactly

ステップ 3 必要に応じて適切な検索文字を入力して、**Find** をクリックします。また、ページごとに表示する項目の件数を指定できます。

**ヒント**

データベースに登録されているすべてのコールパーク番号を検索するには、検索文字を入力せずに **Find** をクリックします。

検出されたコールパーク番号のリストが次の項目で表示されます。

- Call Park Number icon
- Call Park Number
- Partition
- Description
- CallManager

**(注)**

コールパーク番号の横にあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックすることによって、Find and List Call Park Numbers ウィンドウから複数のコールパーク番号を削除できます。ウィンドウに表示されたすべてのコールパーク番号を削除するには、Matching records タイトルバーのチェックボックスをオンにして、**Delete Selected** をクリックします。

ステップ 4 レコードのリストから、検索基準に一致する Call Park Number icon または Call Park Number、関連付けられた Partition、Description、または CallManager をクリックします。

選択したコールパーク番号がウィンドウに表示されます。

関連項目

- [コールパーク番号の追加 \(P.9-15\)](#)
- [コールパーク番号の更新 \(P.9-16\)](#)
- [コールパーク番号の削除 \(P.9-17\)](#)
- [コールパークの設定項目 \(P.9-18\)](#)

コールパーク番号の追加

この項では、1つのコールパーク内線番号またはコールパーク内線番号の範囲を追加する方法について説明します。

手順

ステップ 1 **Feature > Call Park** を選択します。

ステップ 2 ウィンドウの右上隅にある **Add a New Call Park Number** リンクをクリックします。

Call Park Number Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 9-2 を参照)。

ステップ 4 新規コールパーク番号をデータベースに保存するには、**Insert** をクリックします。

関連項目

- [コールパーク番号の検索 \(P.9-12\)](#)
- [コールパーク番号の更新 \(P.9-16\)](#)
- [コールパーク番号の削除 \(P.9-17\)](#)
- [コールパークの設定項目 \(P.9-18\)](#)

コールパーク番号の更新

この項では、1つのコールパーク内線番号またはコールパーク内線番号の範囲を更新する方法について説明します。

手順

-
- ステップ 1** P.9-12 の「[コールパーク番号の検索](#)」の手順を実行して、コールパーク番号またはコールパーク番号の範囲を検索します。
 - ステップ 2** 更新するコールパーク番号またはコールパーク番号の範囲をクリックします。
 - ステップ 3** 該当する設定値を更新します（[表 9-2](#) を参照）。
 - ステップ 4** 変更をデータベースに保存するには、**Update** をクリックします。
-

関連項目

- [コールパークおよびディレクテッドコールパーク \(P.9-1\)](#)
- [コールパーク番号の検索 \(P.9-12\)](#)
- [コールパーク番号の追加 \(P.9-15\)](#)
- [コールパーク番号の削除 \(P.9-17\)](#)
- [コールパークの設定項目 \(P.9-18\)](#)

コールパーク番号の削除

この項では、Cisco CallManager データベースからコールパーク番号を削除する方法を説明します。

手順

-
- ステップ 1** [P.9-12](#) の「[コールパーク番号の検索](#)」の手順を実行して、コールパーク番号またはコールパーク番号の範囲を検索します。
- ステップ 2** 削除するコールパーク番号またはコールパーク番号の範囲をクリックします。
- ステップ 3** **Delete** をクリックします。
-

関連項目

- [コールパークおよびディレクテッドコールパーク \(P.9-1\)](#)
- [コールパーク番号の検索 \(P.9-12\)](#)
- [コールパーク番号の追加 \(P.9-15\)](#)
- [コールパーク番号の更新 \(P.9-16\)](#)
- [コールパークの設定項目 \(P.9-18\)](#)

■ コールパーク

コールパークの設定項目

表 9-2 に、コールパークの設定項目を示します。

表 9-2 コールパークの設定項目

フィールド	説明
Call Park Number/Range	<p>コールパーク内線番号を入力します。数字列またはワイルドカード文字 X (システムでは 1 つまたは 2 つの X を使用できます) を入力できます。たとえば、5555 を入力すると 1 つのコールパーク内線番号 5555 が定義され、55XX を入力すると 5500 ～ 5599 のコールパーク内線番号の範囲が定義されます。</p> <p> (注) 1 つのコールパーク範囲の定義で、最大 100 のコールパーク番号を作成できます。コールパーク番号が固有であり、ディレクテッドコールパーク番号と重複していないことを確認してください。</p> <p> (注) Cisco CallManager サーバ間でコールパーク番号が重複することがないようにしてください。各 Cisco CallManager サーバの番号範囲は固有である必要があります。</p>
Description	このコールパーク番号に簡単な説明を付けます。

表 9-2 コールパークの設定項目（続き）

フィールド	説明
Partition	<p>パーティションを使用してコールパーク番号へのアクセスを制限する場合は、ドロップダウン リスト ボックスから希望のパーティションを選択します。コールパーク番号へのアクセスを制限しない場合は、パーティションに <None> を選択します。</p> <p>パーティションの数が 250 より多い場合は、ドロップダウン リスト ボックスの横に省略記号 (...) ボタンが表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Partition ウィンドウが表示されます。List items where Name contains フィールドにパーティション名の一部を入力します。Select item to use ボックスに表示されるパーティションのリストで希望のパーティション名をクリックし、OK をクリックします。</p> <p> (注) コールパーク番号とパーティションの組み合わせが、Cisco CallManager クラスタ内で固有であることを確認してください。</p>
Cisco CallManager	<p>ドロップダウン リスト ボックスを使用して、コールパーク番号が適用される Cisco CallManager を選択します。</p> <p> (注) 1 つのコールパーク範囲の定義で、最大 100 のコールパーク番号を作成できます。コールパーク番号は固有の番号にしてください。</p> <p> (注) Cisco CallManager サーバ間でコールパーク番号が重複することがないようにしてください。各 Cisco CallManager サーバの番号範囲は固有である必要があります。</p>

関連項目

- [コールパークおよびディレクテッドコールパーク \(P.9-1\)](#)
- [コールパーク番号の追加 \(P.9-15\)](#)
- [コールパーク番号の更新 \(P.9-16\)](#)

コールパークのトラブルシューティング

表 9-3 に、よくあるコールパークの問題のトラブルシューティングリカバリのヒントを示します。

表 9-3 コールパークのトラブルシューティングのヒント

不具合の内容	推奨処置
ユーザがコールをパークできません。ユーザが [パーク] ソフトキーまたは機能ボタンを押しても、コールがパークされません。	<p>クラスタ内の各 Cisco CallManager に固有のコールパーク番号が割り当てられていることを確認してください。P.9-15 の「コールパーク番号の追加」を参照してください。</p> <p>コールパーク番号に割り当てられたパーティションが、電話機の電話番号に割り当てられたパーティションと一致していません。P.9-15 の「コールパーク番号の追加」および『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の追加」の項を参照してください。</p>
コールパーク番号の表示時間が短すぎます。	Call Park Display Timer の設定時間を長くします。P.9-12 の「 コールパークのサービスパラメータの設定 」を参照してください。

その他の情報

関連項目

- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話ボタンテンプレートの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco IP Phone の設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Media Termination Point の設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ルート プラン レポート」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ソフトキーテンプレートの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「新規ユーザの追加」
- 『Cisco CallManager システムガイド』の「クラスタ化」

その他のシスコ マニュアル

- Cisco IP Phone アドミニストレーションガイド for Cisco CallManager
- Cisco IP Phone のユーザ資料とリリース ノート (すべてのモデル)

ディレクテッドコールパーク

ディレクテッドコールパークを使用すると、ユーザが選択したディレクテッドコールパーク番号にパークされたコールを転送できます。ディレクテッドコールパーク番号は、Cisco CallManager の Directed Call Park Configuration ウィンドウで設定します。設定されたディレクテッドコールパーク番号はクラスタ全体で有効です。ディレクテッドコールパークの Busy Lamp Field (BLF) をサポートする電話機は、特定のディレクテッドコールパークのビジジー/アイドルステータスを監視するように設定できます。また、BLFを使用すると、ディレクテッドコールパーク番号を短縮ダイヤルとして追加することもできます。BLFをサポートする電話機モデルのリストについては、[P.9-25](#) の「[ディレクテッドコールパークのシステム要件](#)」を参照してください。

この章では、ディレクテッドコールパークに関する次の情報を提供します。

- [ディレクテッドコールパークの概要 \(P.9-23\)](#)
- [ディレクテッドコールパークのシステム要件 \(P.9-25\)](#)
- [インタラクションおよび制限事項 \(P.9-26\)](#)
- [ディレクテッドコールパークのインストールとアクティブ化 \(P.9-29\)](#)
- [ディレクテッドコールパークの設定 \(P.9-30\)](#)
- [ディレクテッドコールパークのサービスパラメータの設定 \(P.9-32\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク番号の検索 \(P.9-32\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク番号の追加 \(P.9-35\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク番号の更新 \(P.9-36\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク番号の削除 \(P.9-37\)](#)
- [ディレクテッドコールパークのトラブルシューティング \(P.9-41\)](#)
- [その他の情報 \(P.9-43\)](#)

ディレクテッドコールパークの概要

Cisco CallManager では、各ディレクテッドコールパーク番号に、コールを1つだけパークすることができます。パークされたコールを取得するには、設定された取得プレフィックスに続けて、コールがパークされているディレクテッドコールパーク番号をダイヤルする必要があります。取得プレフィックスは、Directed Call Park Configuration ウィンドウで設定します。

ディレクテッドコールパーク機能の使用

次の例は、ディレクテッドコールパーク機能の使用方法を示しています。

例 1

-
- ステップ 1** ユーザ A1 と A2 が接続されています。
- ステップ 2** コールをパークするために、A1 が [テンソウ] ソフトキー（または、使用可能な場合は転送ボタン）を押してディレクテッドコールパーク番号 80（例）をダイヤルするか、またはディレクテッドコールパーク 80 の BLF ボタンを押します（電話機モデルが BLF ボタンをサポートしている場合）。
- ステップ 3** A1 が、[テンソウ] ソフトキー（または転送ボタン）をもう一度押すか、またはオンフックになると、ディレクテッドコールパークの転送が完了します。この操作によって、A2 はディレクテッドコールパーク番号 80 にパークされます。



(注) Transfer On-hook Enabled サービスパラメータが True に設定されている場合は、[テンソウ] ソフトキー（または転送ボタン）の 2 回目の押下では転送は完了せず、オンフックになったときにだけ転送が完了します。『Cisco CallManager システムガイド』の「オンフックコール転送」を参照してください。

■ ディレクテッドコールパーク

- ステップ 4** ユーザ B1 は、パーティションとコーリング スペースが正しく設定されている電話機から、ディレクテッドコールパークプレフィックス（たとえば、21）に続けてディレクテッドコールパーク番号 80 をダイヤルして、コールを取得します。B1 は A2 に接続します。
-

例 2

- ステップ 1** ユーザ A1 と A2 が接続されています。
- ステップ 2** コールをパークするために、A1 が [テンソウ] ソフトキー（または、使用可能な場合は転送ボタン）を押してディレクテッドコールパーク番号 80（例）をダイヤルするか、またはディレクテッドコールパーク 80 の BLF ボタンを押します（電話機モデルが BLF ボタンをサポートしている場合）。
- ステップ 3** A1 が、[テンソウ] ソフトキー（または転送ボタン）をもう一度押すか、またはオンフックになると、ディレクテッドコールパークの転送が完了します。この操作によって、A2 はディレクテッドコールパーク番号 80 にパークされます。



- (注)** Transfer On-hook Enabled サービスパラメータが True に設定されている場合は、[テンソウ] ソフトキー（または転送ボタン）の 2 回目の押下では転送は完了せず、オンフックになったときにだけ転送が完了します。『Cisco CallManager システムガイド』の「オンフックコール転送」を参照してください。
-

- ステップ 4** Call Park Reversion Timer（サービスパラメータ）が期限切れになるまで、コールは取得されません。

- ステップ 5** A2 はコールがパークされている番号に戻るか (Cisco CallManager 管理者がディレクテッドコールパーク番号の復帰オプションとして Use Originator を設定している場合)、または別の電話番号に戻ります (Cisco CallManager 管理者がディレクテッドコールパーク番号の復帰オプションとして Use Specified Number を設定している場合)。

ディレクテッドコールパークのシステム要件

ディレクテッドコールパークが動作するには、次のソフトウェアコンポーネントが必要です。

- Cisco CallManager 4.2 以降

ディレクテッドコールパーク番号を使用して、Cisco IP Phone モデル 7905、7912、7920、7940、7960、および 7970 といった転送を実行できる電話機から、コールをパークおよび取得できます。Cisco VG248 Analog Phone Gateway もディレクテッドコールパークをサポートしています。

次の電話機は、ディレクテッドコールパーク Busy Lamp Field (BLF) を使用して、ディレクテッドコールパーク番号のビジー / アイドルステータスを監視できます。

- Cisco IP Phone モデル 7940 および Cisco IP Phone モデル 7941
- Cisco IP Phone モデル 7960 および Cisco IP Phone モデル 7961
- Cisco IP Phone モデル 7970 および Cisco IP Phone モデル 7971
- Cisco IP Phone 拡張モジュール 7914

インタラクションおよび制限事項

次の項では、ディレクテッドコールパークにおけるインタラクションおよび制限事項について説明します。

- [インタラクション \(P.9-26\)](#)
- [制限事項 \(P.9-28\)](#)

インタラクション

次の各項では、ディレクテッドコールパークが Cisco CallManager アプリケーションおよびコール処理とどのように通信するかを説明します。

- [Attendant Console \(P.9-26\)](#)
- [Music On Hold \(P.9-26\)](#)
- [ルートプランレポート \(P.9-27\)](#)
- [コーリングサーチスペースとパーティション \(P.9-27\)](#)
- [即時転送 \(P.9-27\)](#)
- [割り込み \(P.9-27\)](#)
- [コールパーク \(P.9-28\)](#)

Attendant Console

Cisco CallManager Administration の [ユーザの設定] ウィンドウには、コールパークの場合とは異なり、ディレクテッドコールパークに関する設定やアクティベーションは含まれていません。ディレクテッドコールパークとアテンダントコンソールの詳細については、P.28 の「制限事項」を参照してください。

Music On Hold

Music On Hold を使用すると、ユーザは、ストリーミングソースから提供される音楽を使用して、コールを保留にできます。Music On Hold では、次の2つのタイプの保留を使用できます。

- ユーザ保留：ユーザが保留ボタンまたは [Hold (ホリユウ)] ソフトキーを押すと、システムによってこのタイプの保留が呼び出されます。

- ネットワーク保留：ユーザが転送、会議、またはコールパーク機能をアクティブにすると、このタイプの保留が自動的に呼び出されます。ディレクテッド コールパークが転送機能であるため、この保留タイプはディレクテッド コールパークに適用されます。

ルート プラン レポート

ルート プラン レポートには、Cisco CallManager で設定されているパターンと電話番号が示されます。ディレクテッド コールパークに電話番号を割り当てる前に、ルート プラン レポートを使用して、パターンと電話番号の重複を検索します。『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ルート プラン レポート」の章を参照してください。

コーリング サーチ スペースとパーティション

デバイスのコーリング サーチ スペースに基づいてユーザによるディレクテッド コールパークへのアクセスを制限するには、ディレクテッド コールパーク電話番号または範囲をパーティションに割り当てます。『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「コール検索スペースの設定」および「パーティションの設定」を参照してください。

即時転送

コールパークは即時転送（[iDivert（ソクテンソウ）] ソフトキー）をサポートしています。たとえば、ユーザ A がユーザ B にコールし、ユーザ B がコールをパークしたとします。ユーザ B はコールを取得し、[ソクテンソウ] ソフトキーを押してそのコールをボイスメール メールボックスに送信しました。ユーザ A に、ユーザ B のボイスメール メールボックスのグリーティングが再生されます。

割り込み

次に、ディレクテッド コールパークでの割り込みと C 割り込みの違いについて説明します。

ディレクテッドコールパークでの割り込み

発信先の電話機（割り込み先の電話機）がコールを制御します。割り込みの発信側は発信先の電話機に「ピギーバック」します。割り込み中でも、共通機能のほとんどが発信先の電話機に属しているので、割り込みの発信側は機能を利用できません。発信先がディレクテッドコールパークを使用してコールをパークした場合、割り込みの発信側はそのコール（割り込み）をリリースする必要があります。

ディレクテッドコールパークでのC割り込み

割り込みの発信先と発信側はピアとして動作します。C 割り込み機能は Conference Bridge を使用し、それを Meet-Me 会議のように動作させます。両方の電話機（割り込みの発信先と発信側）がそれぞれの機能を完全に利用できます。

コールパーク

ディレクテッドコールパークおよびコールパークの [パーク] ソフトキーの両方を設定することは可能ですが、シスコではどちらか一方のみを設定することを推奨します。両方を設定する場合は、コールパーク番号とディレクテッドコールパーク番号が重複しないようにしてください。

ディレクテッドコールパーク機能を使用してパークされている発信者（パーキー）は、パークされている間は、標準のコールパーク機能を使用できません。

制限事項

ディレクテッドコールパークには、次の制限事項があります。

- Cisco CallManager では、各ディレクテッドコールパーク番号に、コールを1つだけパークすることができます。
- 各ディレクテッドコールパーク電話番号、パーティション、および範囲が Cisco CallManager クラスタ内で固有であることを確認してください。[パーク] ソフトキーもアクティブになっている場合（非推奨）は、コールパーク番号とディレクテッドコールパーク番号が重複していないことを確認してください。
- ディレクテッドコールパーク機能を使用してパークされている発信者（パーキー）は、パークされている間は、標準のコールパーク機能を使用できません。

- ディレクテッドコールパーク BLF は、ディレクテッドコールパーク番号の範囲を監視できません。ユーザは、ディレクテッドコールパーク BLF を使用して、ディレクテッドコールパーク番号を個別でのみ監視できます。たとえば、ディレクテッドコールパーク番号範囲 8X を設定している場合は、ディレクテッドコールパーク BLF を使用して 80 ~ 89 の範囲全体を監視することはできません。
- アテンダント コンソールのアテンダントは、ディレクテッドコールパーク番号にコールを送信するために、打診転送ボタンを使用する必要があります。転送ボタンを使用した場合は、復帰タイマーが期限切れになっても、システムはコールをアテンダントに戻すことができず、発信者にはリオーダー音が聞こえます。
- デバイスに監視対象として設定されている (BLF ボタンを使用して) ディレクテッドコールパーク番号は削除できません。メッセージには、ディレクテッドコールパーク番号または範囲が使用中のため削除できないことが示されます。どのデバイスが番号を使用中であるかを特定するには、Directed Call Park Configuration ウィンドウの Dependency Records リンクをクリックします。

設定の詳細については、P.9-35 の「ディレクテッドコールパーク番号の追加」を参照してください。

ディレクテッドコールパークのインストールとアクティブ化

システム機能のディレクテッドコールパークは、Cisco CallManager ソフトウェアに標準で備わっています。転送を実行できる電話機はすべて、ディレクテッドコールパークを使用できます。この機能は、特にインストールする必要はありません。シスコでは、コールパークまたはディレクテッドコールパークの両方ではなくどちらか一方を設定することを推奨しています。両方を設定する場合は、ディレクテッドコールパーク番号とコールパーク番号が重複しないようにしてください。

ディレクテッドコールパークの設定

この項の内容は次のとおりです。

- [ディレクテッドコールパークの設定チェックリスト \(P.9-30\)](#)
- [ディレクテッドコールパークのサービスパラメータの設定 \(P.9-32\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク番号の検索 \(P.9-32\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク番号の追加 \(P.9-35\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク番号の更新 \(P.9-36\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク番号の削除 \(P.9-37\)](#)
- [ディレクテッドコールパークの設定項目 \(P.9-38\)](#)

ディレクテッドコールパークの設定チェックリスト

表 9-4 に、ディレクテッドコールパークを設定する際のチェックリストを示します。

表 9-4 ディレクテッドコールパークの設定チェックリスト

設定手順	関連手順と関連項目
ステップ 1 コーリングサーチスペース内にパーティションを持つユーザだけがパーティションを使用できるように、ディレクテッドコールパーク番号のパーティションを設定します。パークされたコールを正常に取得するには、コールの取得元となるコーリングサーチスペースにディレクテッドコールパーク番号を持つパーティションが含まれている必要があります。	『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの追加」 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Media Termination Point の設定」 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「コール検索スペースの設定」

表 9-4 ディレクテッドコールパークの設定チェックリスト (続き)

設定手順		関連手順と関連項目
ステップ 2	<p>固有のディレクテッドコールパーク番号を設定するか、ディレクテッドコールパーク番号の範囲を定義します。範囲は、ワールドカードを使用して指定する必要があります。たとえば、範囲 40XX を指定すると、4000 ~ 4099 の範囲が設定されます。</p> <p> 注意 範囲の入力時には、ダッシュは使用しないでください (4000-4040 など)。</p> <p> (注) ディレクテッドコールパーク BLF を使用して、ディレクテッドコールパーク番号を個別でのみ監視できます。番号の範囲を設定した場合は、BLF は範囲内の番号のビジー/アイドルステータスの監視はサポートしていません。</p>	<p>ディレクテッドコールパーク番号の追加 (P.9-35)</p>
ステップ 3	<p>ディレクテッドコールパークにアクセスできる各デバイスに Standard User ソフトキーテンプレートを割り当てます。ソフトキーを使用できない電話機に対しては、転送ボタンのある電話機ボタンテンプレートが自動的に設定されます。</p>	<p>『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ソフトキーテンプレートの設定」</p>
ステップ 4	<p>ディレクテッドコールパーク BLF をサポートする電話機モデルの場合は、1 つ以上の Call Park BLF ボタンを含む電話機ボタンテンプレートを設定し、さらにディレクテッドコールパーク BLF 設定項目を設定します。</p>	<p>『Cisco CallManager システムガイド』の「電話ボタンテンプレートのカスタマイズのガイドライン」</p> <p>『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ディレクテッドコールパークの Busy Lamp Field の設定」</p>

■ ディレクテッドコールパーク

表 9-4 ディレクテッドコールパークの設定チェックリスト (続き)

設定手順		関連手順と関連項目
ステップ 5	ディレクテッドコールパーク機能が使用可能であることをユーザに通知します。	ユーザが Cisco IP Phone でディレクテッドコールパーク機能にアクセスする方法については、電話機のマニュアルを参照してください。

ディレクテッドコールパークのサービスパラメータの設定

クラスタ全体のサービスパラメータである Call Park Reversion Timer は、ディレクテッドコールパークに影響します。このパラメータは、コールのパーク状態を継続する時間を指定します。デフォルトは 60 秒です。タイマーが期限切れになると、Directed Call Park Configuration ウィンドウでの設定内容に応じて、パークされたコールは、コールをパークしたデバイスか別の指定された番号のどちらかに戻されます。

ディレクテッドコールパーク番号の検索

ネットワーク上には、複数のディレクテッドコールパーク番号が存在する可能性があるため、Cisco CallManager は特定の条件に基づいて、特定のディレクテッドコールパーク番号を検索します。ディレクテッドコールパーク番号を検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザセッションでの作業中、Cisco CallManager Administration は、ディレクテッドコールパーク番号の検索プリファレンスを保持します。ほかのメニュー項目に移動してこのメニュー項目に戻った場合、検索を変更するかブラウザを閉じない限り、Cisco CallManager Administration によってディレクテッドコールパーク番号の検索プリファレンスが保持されます。

手順

ステップ 1 **Feature > Directed Call Park** を選択します。

Find and List Directed Call Park Numbers ウィンドウが表示されます。2つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、ディレクテッド コールパーク 番号を検索します。

ステップ 2 1 つめの Find Directed Call Park Numbers where ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のうち 1 つを選択します。

- Number
- Partition
- Reversion Number
- Description



(注) このドロップダウン リスト ボックスで選択した基準によって、検索で生成されるディレクテッド コールパーク 番号のリストのソート方法が決まります。たとえば、Partition を選択すると、結果リストの左のカラムに Partition カラムが表示されます。

2 つめの Find Directed Call Park Numbers where ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のうち 1 つを選択します。

- begins with
- contains
- ends with
- is exactly

ステップ 3 必要に応じて適切な検索文字を入力して、**Find** をクリックします。また、ページごとに表示する項目の件数を指定できます。



ヒント データベースに登録されているすべてのディレクテッド コールパーク 番号を検索するには、検索文字を入力せずに **[検索]** をクリックします。

■ ディレクテッドコールパーク

検出されたディレクテッドコールパーク番号のリストが次の項目で表示されます。

- Directed Call Park Number icon
- Directed Call Park Number
- Partiton
- Description
- Reversion Number
- Retrieval Prefix



(注) ディレクテッドコールパーク番号の横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすることによって、Find and List Directed Call Park Numbers ウィンドウから複数のディレクテッドコールパーク番号を削除できます。ウィンドウに表示されたすべてのディレクテッドコールパーク番号を削除するには、Matching records タイトルバーのチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除] をクリックします。

ステップ 4 レコードのリストから、検索基準に一致する Directed Call Park Number アイコンまたはディレクテッドコールパーク番号、関連付けられたパーティション、復帰番号、または取得用プレフィックスをクリックします。

選択したディレクテッドコールパーク番号がウィンドウに表示されます。

関連項目

- [ディレクテッドコールパーク番号の追加 \(P.9-35\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク番号の更新 \(P.9-36\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク番号の削除 \(P.9-37\)](#)
- [ディレクテッドコールパークの設定項目 \(P.9-38\)](#)

ディレクテッドコールパーク番号の追加

この項では、1つのディレクテッドコールパーク番号またはディレクテッドコールパーク番号の範囲を追加する方法について説明します。

手順

ステップ 1 **Feature > Directed Call Park** を選択します。

ステップ 2 ウィンドウの右上隅にある **Add a New Directed Call Park Number** リンクをクリックします。

Call Park Number Configuration ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 9-5 を参照)。

ステップ 4 新規ディレクテッドコールパーク番号をデータベースに保存するには、**[挿入]** をクリックします。

関連項目

- [ディレクテッドコールパーク番号の検索 \(P.9-32\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク番号の更新 \(P.9-36\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク番号の削除 \(P.9-37\)](#)
- [ディレクテッドコールパークの設定項目 \(P.9-38\)](#)

ディレクテッドコールパーク番号の更新

この項では、1つのディレクテッドコールパーク内線番号またはディレクテッドコールパーク内線番号の範囲を更新する方法について説明します。

手順

- ステップ 1** P.9-32の「ディレクテッドコールパーク番号の検索」の手順を実行して、ディレクテッドコールパーク番号またはディレクテッドコールパーク番号の範囲を検索します。
- ステップ 2** 更新するディレクテッドコールパーク番号またはディレクテッドコールパーク番号の範囲をクリックします。
- ステップ 3** 該当する設定値を更新します（表 9-5 を参照）。
- ステップ 4** 変更をデータベースに保存するには、**Update** をクリックします。



(注) ディレクテッドコールパーク番号を更新するとすぐに、Cisco CallManagerはその番号でパークされているコールをすべて戻します。これは、ディレクテッドコールパーク番号を更新すると、実際には、Cisco CallManagerが古い情報を削除してから新しい情報を追加するために発生します。古い情報が削除された時点で、その番号にパークされていたコールを引き続きパークしたり、通常の方法で取得したりできなくなるため、必然的にコールは戻されます。



(注) ディレクテッドコールパーク番号またはディレクテッドコールパーク番号の範囲が変更されたときは必ず、BLFを使用してそれらのディレクテッドコールパーク番号を監視するように設定されているデバイスが再起動し、表示を適正にします。ディレクテッドコールパーク番号の変更が検出されると、影響を受けるデバイスは変更通知によって自動的に再起動されます。また、Directed Call Park Configuration ウィンドウの Restart Devices ボタンを使用してデバイスを再起動することもできます。

関連項目

- [ディレクテッド コールパーク 番号の検索 \(P.9-32\)](#)
- [ディレクテッド コールパーク 番号の追加 \(P.9-35\)](#)
- [ディレクテッド コールパーク 番号の削除 \(P.9-37\)](#)
- [ディレクテッド コールパーク の設定項目 \(P.9-38\)](#)

ディレクテッド コールパーク 番号の削除

この項では、Cisco CallManager データベースからディレクテッド コールパーク 番号を削除する方法を説明します。

手順

-
- ステップ 1** [P.9-32 の「ディレクテッド コールパーク 番号の検索」](#) の手順を実行して、ディレクテッド コールパーク 番号またはディレクテッド コールパーク 番号の範囲を検索します。
- ステップ 2** 削除するディレクテッド コールパーク 番号またはディレクテッド コールパーク 番号の範囲をクリックします。
- ステップ 3** **Delete** をクリックします。
-



(注)

ディレクテッド コールパーク 番号を削除するとすぐに、Cisco CallManager はその番号でパークされているコールをすべて戻します。これは、番号が削除された時点で、その番号にパークされていたコールを引き続きパークしたり、通常の方法で取得したりできなくなり、必然的にコールが戻されるために発生します。



(注) デバイスに監視対象として設定されている (BLF ボタンを使用して) ディレクテッドコールパーク番号は削除できません。メッセージには、ディレクテッドコールパーク番号が使用中のため削除できないことが示されます。どのデバイスが番号を使用中であるかを特定するには、Directed Call Park Configuration ウィンドウの Dependency Records リンクをクリックします。

関連項目

- [ディレクテッドコールパーク番号の検索 \(P.9-32\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク番号の追加 \(P.9-35\)](#)
- [ディレクテッドコールパーク番号の更新 \(P.9-36\)](#)
- [ディレクテッドコールパークの設定項目 \(P.9-38\)](#)

ディレクテッドコールパークの設定項目

表 9-5 に、ディレクテッドコールパークの設定項目を示します。

表 9-5 ディレクテッドコールパークの設定項目

フィールド	説明
Directed Call Park Number/Range	ディレクテッドコールパーク番号を入力します。数字列またはワイルドカード文字 X (システムでは 1 つまたは 2 つの X を使用できます) を入力できます。たとえば、5555 と入力すると 1 つのディレクテッドコールパーク番号 5555 が定義され、55XX と入力すると 5500 ~ 5599 のディレクテッドコールパーク番号の範囲が定義されます。ディレクテッドコールパーク番号が固有であり、コールパーク番号と重複していないことを確認してください。
Description	このディレクテッドコールパーク番号に簡単な説明を付けます。

表 9-5 ディレクテッドコールパークの設定項目（続き）

フィールド	説明
Partition	<p>パーティションを使用してディレクテッドコールパーク番号へのアクセスを制限する場合は、ドロップダウンリストボックスから希望のパーティションを選択します。ディレクテッドコールパーク番号へのアクセスを制限しない場合は、パーティションはデフォルトの<なし>を選択します。</p> <p>パーティションの数が250より多い場合は、ドロップダウンリストボックスの横に省略記号 (...) ボタンが表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Partition ウィンドウが表示されます。List items where Name contains フィールドにパーティション名の一部を入力します。Select item to use ボックスに表示されるパーティションのリストで希望のパーティション名をクリックし、OK をクリックします。</p> <p></p> <p>(注) ディレクテッドコールパーク番号とパーティションの組み合わせが、Cisco CallManager クラスタ内で固有であることを確認してください。</p>
Reversion Number	<p>2つのオプションボタンがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • パークされたコールを取得しなかった場合にコールを発信番号に戻す場合には、Use Originator を選択します。 • パークされたコールを取得しなかった場合にコールを別の番号に戻す場合には、Use Specified Number を選択します。表示されたスペースに指定する番号を入力します。 <p></p> <p>(注) 復帰番号は数字のみで指定します。ワイルドカードは使用できません。</p>

表 9-5 ディレクテッドコールパークの設定項目 (続き)

フィールド	説明
Calling Search Space	<p>復帰番号として指定する番号を入力した場合は、コーリング検索スペースを指定できます。ドロップダウンリストボックスを使用して、コーリング検索スペースを選択するか、またはコーリング検索スペースをデフォルトの<なし>のままにします。</p> <p>コーリング検索スペースの数が 250 より多い場合は、ドロップダウンリストボックスの横に省略記号(...) ボタンが表示されます。... ボタンをクリックすると、Select Calling Search Space ウィンドウが表示されます。List items where Name contains フィールドにコーリング検索スペース名の一部を入力します。Select item to use ボックスに表示されるコーリング検索スペースのリストで希望のコーリング検索スペース名をクリックし、[OK] をクリックします。</p>
Retrieval Prefix	<p>必須フィールドです。パークされたコールを取得するためのプレフィックスを入力します。システムがパークされたコールの取得試行とディレクテッドパークの開始試行とを区別するために、取得用プレフィックスが必要となります。</p>



(注)

ディレクテッドコールパーク番号が変更されたときは必ず、ディレクテッドコール BLF を使用してそれらのディレクテッドコールパーク番号を監視するように設定されているデバイスが再起動し、表示を適正にします。ディレクテッドコールパーク番号の変更が検出されると、影響を受けるデバイスは変更通知によって自動的に再起動されます。また、Directed Call Park Configuration ウィンドウの Restart Devices ボタンを使用してデバイスを再起動することもできます。

関連項目

- [コールパーク番号の追加 \(P.9-15\)](#)
- [コールパーク番号の更新 \(P.9-16\)](#)
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「コール検索スペースの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの設定」

ディレクテッドコールパークのトラブルシューティング

表 9-6 に、よくあるディレクテッドコールパークの問題のトラブルシューティング
グリカバリのヒントを示します。

表 9-6 ディレクテッドコールパークのトラブルシューティングのヒント

不具合の内容	推奨処置
<p>ユーザがコールをパークできません。 [テンソウ] ソフトキー（または、使用可能な場合は転送ボタン）を押し、ディレクテッドコールパーク番号をダイヤルしても、コールがパークされません。</p>	<p>コールパーク番号に割り当てられたパーティションが、電話機の電話番号に割り当てられたパーティションと一致していることを確認してください。P.9-35 の「ディレクテッドコールパーク番号の追加」および『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話番号の追加」の項を参照してください。</p> <p>デバイスのパーティションとコーリングサーチスペースが正しく設定されていることを確認してください。『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「コール検索スペースの設定」および「パーティションの設定」を参照してください。</p>
<p>ユーザがコールをパークできません。 [テンソウ] ソフトキー（または、使用可能な場合は転送ボタン）を押し、ディレクテッドコールパーク番号をダイヤルしても、ユーザにはビジー音が聞こえ、IP Phone にはメッセージ「パークスロットガリヨウデキマセン」が表示されます。</p>	<p>ダイヤルしたディレクテッドコールパーク番号がパークされたコールによってすでに占有されていないかどうか、または、コールを別のディレクテッドコールパーク番号でパークしていないかどうかを確認してください。</p>
<p>ユーザがコールをパークできません。 [テンソウ] ソフトキー（または、使用可能な場合は転送ボタン）を押し、ディレクテッドコールパーク番号をダイヤルしても、ユーザにはリオーダー音またはアナウンスが聞こえます。</p>	<p>ダイヤルした番号がディレクテッドコールパーク番号として設定されていることを確認してください。P.9-32 の「ディレクテッドコールパーク番号の検索」および P.9-35 の「ディレクテッドコールパーク番号の追加」を参照してください。</p>

表 9-6 ディレクテッドコールパークのトラブルシューティングのヒント (続き)

不具合の内容	推奨処置
パークされたコールが戻るのが早すぎます。	Call Park Reversion Timer の設定時間を長くします。P.9-32 の「ディレクテッドコールパークのサービスパラメータの設定」を参照してください。
ユーザがコールをパークできません。復帰タイマーが期限切れになると、ユーザにはリオーダー音が聞こえます。	ユーザが、ディレクテッドコールパーク番号をダイヤルする前に、[テンソウ] ソフトキー（または、使用可能な場合は転送ボタン）を押し、ディレクテッドコールパーク番号をダイヤルした後に、[テンソウ] ソフトキー（または、転送ボタン）を再度押したか、オンフックになったことを確認します。ディレクテッドコールパークは転送機能であるため、ディレクテッドコールパーク番号を単独でダイヤルすることはできません。P.9-23 の「ディレクテッドコールパークの概要」を参照してください。
	 <p>(注) Transfer On-hook Enabled サービスパラメータが True に設定されている場合は、[テンソウ] ソフトキー（または転送ボタン）の 2 回目の押下では転送は完了せず、オンフックになったときにだけ転送が完了します。『Cisco CallManager システムガイド』の「オンフックコール転送」を参照してください。</p>
ユーザがパークされたコールを取得できません。ディレクテッドコールパーク番号をダイヤルしパークされたコールを取得した後に、ビジー音が聞こえ、IP Phone にメッセージ「パークスロットガリヨウデキマセン」が表示されません。	ユーザが取得用プレフィックスに続けてディレクテッドコールパーク番号をダイヤルしたことを確認します。P.9-23 の「ディレクテッドコールパークの概要」を参照してください。
パークされたコールがコールをパークした番号に戻りません。	ディレクテッドコールパーク番号の設定が、別の電話番号ではなくコールをパークした番号に戻るよう設定されていることを確認します。P.9-30 の「ディレクテッドコールパークの設定」を参照してください。

表 9-6 ディレクテッドコールパークのトラブルシューティングのヒント (続き)

不具合の内容	推奨処置
ディレクテッドコールパーク番号またはディレクテッドコールパーク番号の範囲を削除しようとする、番号または範囲が使用中であるため削除できないことを示すメッセージが表示されます。	デバイスに監視対象として設定されている (BLF ボタンを使用して) ディレクテッドコールパーク番号は削除できません。どのデバイスが番号を使用中であるかを特定するには、 Directed Call Park Configuration ウィンドウの Dependency Records リンクをクリックします。
ディレクテッドコールパーク番号の範囲を設定した後は、範囲内の番号ではコールをパークできません。	ディレクテッドコールパーク番号の範囲を入力した際の構文を確認してください。不正な構文を使用すると、実際には指定していない範囲をシステムが設定したように見えます。 P.9-35 の「ディレクテッドコールパーク番号の追加」 を参照してください。

その他の情報

関連項目

- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「電話ボタンテンプレートの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Cisco IP Phone の設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「パーティションの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「Media Termination Point の設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ルート プラン レポート」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「ソフトキーテンプレートの設定」
- 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』の「新規ユーザの追加」
- 『Cisco CallManager システムガイド』の「クラスタ化」

その他のシスコ マニュアル

- *Cisco IP Phone アドミニストレーションガイド for Cisco CallManager*
- Cisco IP Phone のユーザ資料とリリース ノート (すべてのモデル)